

## 職員による自己評価

## A 環境・体制整備

- ・高学年が増え、下校時間（学校へのお迎え時間）が遅い児童が増えてきているので、職員が送迎に出ている時間帯に事業所内で児童の対応をする職員が少なくならないよう、時間帯ごとにそれぞれの事業所の児童・職員の人数を明確にして体制を整えている。
- ・職員の人員配置によって、スケジュールの調整をして支援方法の変更をするなど柔軟に対応している。

## B 業務改善

- ・ミーティングを行い、その日の体制や支援方法の確認、社員・アルバイト問わず気になる点や改善策を話し合い実践している。
- 情報共有を強化してあいまいな点を減らし、意見を出しやすい環境作りによって疑問点を解消し改善に努めている。

## C 適切な支援の提供

- ・ミーティングを行い、児童に関する情報（気になる様子など）を共有して対応方法の確認をすることで日々の支援に生かしている。
- ・学校との連携を少しずつ強化している。
- ・月に一度の研修を継続し、スキルアップをして支援の充実を図っていききたい。（特に増えてきた高学年や中学生に対する支援）

## D 関係機関や保護者との連携

- ・保護者との連携が不足していると感じることがあるため、情報共有と連携を密にすることで保護者の意向をふまえた上で、日々の支援を充実したものにしていききたい。

## E 保護者への説明責任等

- ・毎月の事業所ごとの様子をお伝えするフリースマイル日より、イベントの紹介などお知らせを強化している。

## F 非常時等の対応

- ・マニュアルの整備と、周知が足りないものについて共有する。

## 保護者による評価

A 満足度について、「いつもありがとうございます。」などのお言葉をいただきましたが、  
B 適切な支援の提供、C 保護者への説明等、D 非常時等の対応の各項目で「どちらともいえない」というご意見が多く見られました。  
満足していただけるよう、より良い支援を目指していきます。

## 事業所内での分析

- ・保護者・児童本人の思い・ニーズに敏感に耳を傾けてそれぞれの意向をふまえ、一人ひとりの児童に対するより良い支援を常に意識して対応していきたい。
- ・職員のスキルアップを通して、コミュニケーションスキルの向上だけでなく利用児童の年齢層に応じた支援の幅を広げていきたい。
- ・プログラム内容について、新しい方法にも積極的にチャレンジして支援の幅を広げていきたい。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・児童に対する継続した支援。
- ・意見を出しやすい環境作り、積極的な意見交換を行い、子どもに対するより良い支援を分析。

### 事業所の改善点

- ・高学年への支援内容の充実
- ・職員間の情報共有と保護者との連携不足。
- ・支援内容の充実。

### 事業所の改善への取り組み

- ・曖昧なことを明確にし、職員間の情報共有を密にして共通認識を持つ。
- ・保護者との連携を強化して、日々の子どもの変化・ニーズの変化を支援に生かす。
- ・アルバイト職員も含め、研修を充実させてスキルアップを図る。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年も評価表のアンケート回答にご協力いただき、ありがとうございました。  
継続して利用していただいている方も増えてきた一方で、利用児童の年齢層が上がってきたことで今までと同じ支援だけでなく支援の幅を広げていかなければと感じています。  
そのためにも、不足しがちな保護者との会話を大切にして連携し、保護者・児童それぞれのニーズをキャッチしそれぞれの年齢層に応じた支援内容の充実を図っていきたいと思います。  
職員自身が成長していく意識を持ち、子どもたちの成長につなげていけたらと思いますのでご意見・ご質問等遠慮なくいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事業所名 フリースマイル横浜港南Ⅱ

担当者 菅原優子